

令和2年度 提案型協働のまちづくり支援事業

No.	区分	団体名	事業名	事業概要	担当課	担当
1	継続 (3)	みとみ活性化協議会	みとみ活性化事業	保育所、小学校統合、学童クラブの閉鎖により、子どもの集まる場所がなくなり、地域の活力が停滞している三富地域において、地域交流イベントを開催し、地域の人々の親睦と地域外からの人々との交流を促し、地域の活性化を目指す。	三富支所	
2	継続 (2)	下神内川2区まちづくりの会	山梨市駅南 桃の花菜の花フットパスとまち歩き景観づくり事業	完成から数年経ち、劣化が進んでいるかのがわ古道について、改修等を行うことで景観の改善を図るとともに、駅南口開設を契機に駅からのまち歩きを想定し、フットパスモデルコースを策定しガイドブックを発行することで、地域の活性化を目指す。	都市計画課	都市計画担当
3	継続 (2)	西保地区歴史まちづくり委員会	西保地区石仏等調査及び史跡めぐりパンフレットの作成事業	石仏や史跡などの文化が多く残されている牧丘町の西保地区において、調査による記録保存を行うことにより、文化の継承を図る。また、調査したものをパンフレットにすることで史跡巡りという視点から地域の魅力発信を行う。	生涯学習課	文化財担当
4	継続 (3)	NPO法人山梨市観光振興会	山梨百名山黒金山ハナド尾根登山道改修事業	山梨百名山である黒金山と西沢渓谷を結ぶ尾根筋にある、大嶽山神社の奥ノ院天狗岩に通じる道の一つを再度確立することにより、登山ルートを増やすとともに、トレイルランニングのルートとしての活用を目指す。	観光課	観光施設担当
5	継続 (3)	NPO法人山梨市観光振興会	一之釜観光散策路景観改良事業	一之釜渓谷では駐車場の確保が困難なため、観光客はバス停から釜口の集落を通過して一之釜へ向かっているが、道中はブロック塀やトタン柵が設置しており景観を損ねている。そこで、塀、柵を板塀に変えることで一之釜までの道中も観光地としての景観改善を目指す。	観光課	観光施設担当
6	継続 (2)	しだれ桜を守る会	乙ヶ妻 しだれ桜を守る事業	乙ヶ妻区の地域シンボルともいえるしだれ桜においては、木の杭等により保護を行っているが、腐敗が進むと共に地域の高齢化も進んでいる。そこで、杭の素材を変更したり、看板を一新することで、観光PRの促進を図る。	観光課	観光施設担当
7	新規	三富文化観光研究会	三富地域の自然文化観光開発事業	豊富な自然文化、地域資源を保有している三富地域だが、近年観光関連産業が衰退し、観光客や働く若手人材の減少している。三富地域の自然文化を維持発展させ、シャワーライミングを初め新たな体験型観光事業の開発をし、持続可能な地域自治に必要な資金と担い手育成を目指す。	観光課	観光企画担当
8	新規	あゆみ会	山梨の資源を使おう！木工体験教室	山梨県は、国内で第3位の森林国だが、子どもたちの森林体験が少なく林業の担い手は減少している。木の利用方法を教えたり、皆で考えることにより、子どもたちに森林の多い山梨の特徴を伝え、山梨を誇りに思い、郷土愛を育て未来の山梨の担い手を育てることを目指す。	農林課	農林担当
9	新規	防災未来ラボ	save our family! 命を守る防災未来キャンプ	近年全国各地で多発する災害などで、災害に対する防災意識が高まりつつある。「避難所体験」をベースとした防災キャンプを実施し、市民の防災意識を高めるとともに子育て世代に向けた防災・避難所マニュアルのベースになるような成果物を作成し、行政任せではなく市民も主体となり防災スキルを高めることを目指す。	防災危機管理課	
10	新規	山梨市プラモデル作品展示会サポーターズ	ものづくりで、親子の触れ合い・世代間交流・生涯学習で地域活性化	現代の子どもたちは、ものづくりをする機会が少なく縦のつながりが少なくなっているが、プラモデルを通じてものづくりの楽しさを伝えるとともに親子で触れ合う機会を提供する。また、県外からの参加者も多い、「山梨市プラモデル作品展示会」継続することにより交流人口や地域活性化が期待できる。	地域資源開発課	まちづくり担当
11	新規	特定非営利活動団体 山梨ガバメント協会	ゆるキャン△を使用した地域活性化事業	全国で人気のアニメ「ゆるキャン△」の聖地である複数の施設を保有しているにも関わらず、活用できていない。ゆるキャン△関連のイベントや、市内産業との連携を図ることにより、山梨市への来訪者増加と、認知度向上を目指し、地域活性化を図る。	地域資源開発課	まちづくり担当